

コミュニティ・スクールだより

第1回学校運営協議会を開催しました

7月8日（水）に、令和2年度第1回学校運営協議会を開催しました。全体会の後、テーマ別グループに分かれて話し合い（熟議）も行われました。それぞれのグループで貴重な意見が交わされました。以下、その概略について記述します。

1 全体会

(1) 委嘱状交付

十小学校運営協議会委員12名に、小野教育長から、委嘱状が渡されました。今年度は、3名の委員が代わりました。小山克行前近藤区長に代わり松村貞弘近藤区長、加藤晴康前西公民館長に代わり家泉均西公民館長、石村澄江前協議会委員に代わり岡田ベッシー館林市国際交流協会会長がメンバーになりました。



【委嘱状交付】

(2) 小野教育長あいさつ

十小1年目は、協議会委員による熟議を通して、学校支援センター等のボランティア活動など多くの取組をしていただきました。今年度は、新型コロナウイルス感染防止の対策をしつつ、さらにコミュニティ・スクールを充実させてください。

(3) 学校運営協議会規則について

学校教育課木村係長より、協議会規則の変更点の概略説明がありました。

(4) 学校長あいさつ

新型コロナウイルス感染防止を踏まえた学校教育活動をしていく上で、児童の生活のリズムづくり、教職員による指導等、試行錯誤している現状です。館林市国際交流協会及び在日ビルマロヒンギヤ協会の方から、ラベンダーの花束を250余りをいただきました。少しずつ、地域や関係団体とのつながりが増えてきています。

(5) 自己紹介

(6) 会長〈1名〉、副会長〈1名〉選出

昨年度と同じく、会長に小林亮治様、副会長に平井輝行様が選出された。

(7) 協議（進行は、小林亮治会長）

① 第十小学校学校経営方針の説明（学校長）

学校経営方針の骨子及び今年度重点項目の説明

② 令和元年度の学校運営協議会活動の概略及び令和2年度の方針について（会長）

昨年度の話し合いの中で挙げられた以下の4点の重点項目について、4グループに分かれて熟議をお願いします。その際、活動の目標・ねらい、活動の計画や進め方、活動時間帯などを踏まえつつ、話し合いを深めていってください。

読み聞かせ活動の拡充
学校周りの花壇及び中庭の芝生整備活動
地域の方との合同あいさつ運動
放課後学習支援活動



【重点項目毎の熟議】

2 グループ協議（熟議）

（4グループに分かれて、熟議を行いました。以下、各グループで話し合われた概要です。）

読み聞かせ活動の拡充

- 読み聞かせは、児童たちが聞き入ってくれるので、話を聞く姿勢ができると思われる。ただし、現在はメンバーが不足しており、1～3年生の各学級のみ読み聞かせができています。4年生以上の学年には、ボランティアが全ての学級には入れていない現状である。
- ボランティアの方には、朝だけでなく協力していただきたい。昼休みの時間に、図書室や中庭の芝生で読み聞かせをしていただいてもよい。
- 読み聞かせボランティアの募集については、西公民館等にポスターを掲示する方法もある。
- 保護者への依頼に関しては児童（特に1年生）が保護者にアプローチすることも考えられる。
- 西幼稚園保護者にも慣れている方がいる。見学会を行うのもよい。

学校周りの花壇及び中庭の芝生整備活動

- 花を育てることで身の周りの自然に関心をもったり、命を尊重する心の育成を目指したい。
- 花壇整備等を通して、地域の方たちと子ども達は交流できるので、社会性も身に付けられる。
- 中庭の芝生が整備できれば、教育活動で活用できる。
- 学習環境もよくなったり、異学年の子ども達との交流ができたりすることが考えられる。
- 活動を進めていく上で、教職員に負担が掛かりすぎないように配慮する必要がある。
- 今後、専門的な知識や技能をもった方に協力していただけると有り難い。
- ボランティア募集ポスター作りやその配付先なども工夫していきたい。

地域の方との合同あいさつ運動

- 地域の方との合同あいさつ運動を拡充して、学校と地域の連携を強めていきたい。
- あいさつ運動の場所は決めない。家の前でもよいから、地域の人たちと声を掛け合えるようにしたい。
- 児童委員会の子ども達を中心に、率先してあいさつ運動を展開させたい。
- 大人と子どもが一緒に参加するあいさつ運動の機会ももてるようにしたい。
- あいさつ運動を展開する上で、子どもの安全（不審者等対策も含めて）を保証していく必要がある。
- 8月下旬からスタートできるように、案を作成していく。

放課後学習支援活動

- 本活動をスタートする上で、この放課後学習支援活動の対象児童を、外国籍の児童から始めたい。外国籍の児童たちには、日本語支援から始め、十小の教育活動に慣れていってほしい。
- 外国籍の児童たちには、日本語支援や教科学習支援も必要だ。まずは、必要感のある児童たちを対象としてスタートし、ボランティアの人数等も考慮して対象の児童を広げられたらよい。
- ボランティアの方には、放課後に限らず、授業時間帯の日本語学級にも来ていただき、協力していただきたい。
- 日本語学級や放課後学習支援活動には、多くのボランティアの方に協力していただきたい。地域の方々や保護者、公民館活動をしている方、館林市国際交流協会の方等に、無理のない範囲で協力していただきたい。

熟議の時間は、約30分間という限られた時間でしたが、熱心な話し合いが行われました。

熟議で話し合われました4つの重点項目について、今後保護者や地域の方々及び各関係団体の方々にご協力をいただくこととなりますが、今後ともよろしくお願いします。

十小コミュニティ・スクール事務局【74-8733（担当：田野入又は教頭）】